

新成人 未来へ羽ばたく



恩師と写真に写る新成人たち

新成人の門出を祝う「成人式」が1月11日、文化センター大ホールで行われ、色鮮やかな振り袖や羽織袴、スーツを身にまとった新成人447人(対象者672人)が出席し、旧友たちとともに人生の新たなスタートを切りました。



誓いの言葉を述べる原田翼さん(左)と半田彩織さん

同式は、市内で活動する和太鼓サークル「どんと鼓」の「木月」の演奏で盛大に幕開け。続いて、堀口市長と小北市議会議長から、お祝いの言葉が新成人に贈られました。
また、新成人を代表して誓いの言葉を述べた原田翼さんと半田彩織さんは、阪神淡路大震災、東日本大震災の経験から、命の尊さや生きていく大切さに触れ「互いに励まし、一人ひとりの夢を尊重するとともに、幸福な社会を作ることとをここに誓います」と決意を新たにしました。
同式終了後には、文化センター小ホールで母校の先生たちも招いた「新成人のつどい」が行われ、新成人たちは懐かしい顔ぶれに笑顔を見せながら、思い出話などに花を咲かせていました。

「とんどさん」を見守る園児たち



「とんどさん」で健康祈願

有都こども園の園児ら約160人

無病息災や五穀豊穡を祈願する「とんどさん」が1月13日、内里北ノ口の田んぼで行われ、有都こども園の園児や保護者、地域の人が約160人が今年1年の健康などを願いました。

「とんどさん」は、竹で組まれたやぐらに正月飾りや書初めなどを掛けて焼く伝統行事。同園は、毎年、地域の人の協力を得て、やぐらを組んでもらい、園児らが自宅から持ち寄った正月飾りなどを掛

け、「とんどさん」を行っています。

田んぼに集まった園児たちが「火の神様ー」と大きな声で呼ぶと、同園の先生扮する火の神様が現れ、たいまつでやぐらに点火。

やぐらは勢いよく燃え上がり、竹がはじけるたびに「ポンッ、ポンッ」と大きな音が。園児らはその様子を見つめながら、今年も元気で健康に過ごせますようにと、手を合わせてお願いしていました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

楽しく学んで 特殊詐欺ゼロ

特殊詐欺について楽しく学び、だまされない消費者になってもらおうと1月10日、「特殊詐欺ゼロの啓発事業『特殊詐欺って、なに?』」が地域包括ケア複合施設YMBTで行われ、約50人の地域住民らが参加しました。

NPO法人「発起塾」は、電話で息子の名をかたり、お金をだまし取る「オレオレ詐欺」を題材にしたミュージカル上演。また、八幡警察署は実際に市で発生した、警察や銀行を名乗り、お金をだまし取る「劇場型詐欺」を防犯喜劇として演じ、それぞれ参加者に注意を呼び掛けました。



「オレオレ詐欺」を題材にしたミュージカル

コマやカルタで遊んだよ

園児と高齢者が交流

1月14日、八幡第三幼稚園の園児63人が老人憩いの家「八寿園」を訪れ、地域の高齢者たちと正月遊びなどをして交流しました。

同園の園児たちは、毎年、年明けのこの時期に八寿園を訪れ、地域の高齢者たちと遊びを通して交流しており、今年も八寿園で活動する「わくわくサークル」のメンバ

ーが園児たちを迎えました。

園児たちは同メンバーに教えてもらいながら、コマ回しやカルタ、あやとりなど、いろいろな遊びに挑戦。また、一列に並んで列車を作り、部屋の中をぐるぐる回ったり、同メンバーが手を合わせて作るトンネルをくぐったりして楽しみました。

最後は、同メンバーから園児たちに折り紙で作ったコマをプレゼント。園児たちはうれしそうに受け取り、地域の高齢者たちとの交流を最後まで満喫していました。

あやとりを教える園児たち

